

3 景観づくりのテーマ(理念)

1. 景観づくりのテーマ

人と自然が織りなす江別らしい景観を子供たちへ

歴史を感じさせる耕地防風林のある農村の風景や、庭先の木々、季節の花々とれんがのある温かな市街地景観といった人が創り出すものと、野幌原始林や石狩川、街なかに昔のままに残る沢地や樹林地などの自然が創り出すものが織りなす江別らしい景観があります。

これをみんなで守り育て、市民共有の財産として子供たちへ引き継ぐことをテーマとします。



野幌原始林内のくりの木

2. 「江別らしい景観」のイメージ

身近に自然や原風景、れんがの温かさのある暮らし続けたいくなる景観

身近には、緑豊かな鉄道林をはじめ、森や水辺のある大麻中央公園や泉の沼公園など、郊外には歴史ある野幌原始林や石狩川などの雄大で繊細な自然の景観があります。また、農業地域に目を向けると原風景を創り出している耕地防風林と小麦畑や牧草地などが広がっています。

そして、私たちはこれらの景観にいつでもふれることができ、生活の糧となる潤いややすらぎを感じることができます。また、街なかを見渡すと街路樹や庭先の木々、市民の手によって植えられた季節の花々とれんがのある温かな景観が暮らしの中にたくさんあり、暮らし続けたいくなる“ほっ”とする景観のあるまちがイメージです。



住宅地の街並み～若草町